ハンドマイク街頭演説原稿例　減らない年金、増える年金を

二〇二五年六月十一日　日本共産党埼玉県委員会・作成

※国会での法案審議状況に注意！

　ご近所のみなさん、日本共産党です。この場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　みなさん、政府の提出した年金改定法案が、自民・公明・立憲民主の三党による「修正」のうえ、衆議院で可決されました。現在は参議院で審議が続いています※。与党と立憲民主党は、修正によって年金削減に歯止めがかかり「基礎年金の底上げ」がされると説明しています。本当にそうなるのでしょうか。

　法案の審議で最大の焦点となったのが、毎年の年金改定率を、物価や賃金の伸び幅より低く抑えることで、年金を実質的に減らす「マクロ経済スライド」の仕組みにより、今の高齢者が受け取っている年金はもちろん、現役世代が将来受けとる年金まで減らされていくという問題です。

　これに対して与党と立憲民主党の修正案は、たしかに将来の年金の削減幅は小さくなります。ところがマクロ経済スライドのしくみが残され、現在の水準より年金が減らされることには変わりありません。政府と三党の想定によれば、経済状況が過去三十年と変わらない場合、二〇三七年までの十二年間に、年金が十％減らされます。現在、月十万円の年金の実質的な価値は九万円に、二十万円の年金は十八万円に引き下げられるということです。これでは、年金制度に対する現役世代の不安や不信感を解消することはできないのではないでしょうか。

　日本共産党は、マクロ経済スライドのしくみをすみやかになくすことを提案しています。総額二百九十兆円積み立てられている年金積立金を適切に活用しながら、月収六十五万円で年金保険料が頭打ちとなり、それ以上の収入があっても保険料が増えない現在のしくみを見直して収入を増やすなどの改革によって、年金カットをやめ、すべての世代に「物価・賃金に応じて引き上がる年金」を保証することができます。

　そしてみなさん、現役労働者の雇用確保と賃上げによって、年金保険料収入を増やすことも必要です。日本共産党は、年金のしくみの改善と現役世代の労働条件の改善によって、安心の年金を実現するために、全力でがんばります。

　みなさん、今年の夏には参議院選挙が行われます。衆議院に続いて、今度は参議院でも与党を少数に追い込み、消費税減税や年金はじめ、国民の切実な願いを実現するチャンスです。そのためにも、日本共産党を大きくすることがどうしても必要です。日本共産党は政党を選ぶ比例代表で、はたやま和也・元衆議院議員を含む五議席の獲得、定数四の埼玉選挙区で現職の伊藤岳参議院議員の再選をかちとるため、全力で頑張ります。日本共産党と伊藤岳に、みなさんのお力をお貸しくださいますよう、よろしくお願いします。

　自民党の裏金問題を最初にスクープした、日本共産党の発行する「しんぶん赤旗」をこの機会にぜひお読みいただきますようお願いいたしまして、この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）